

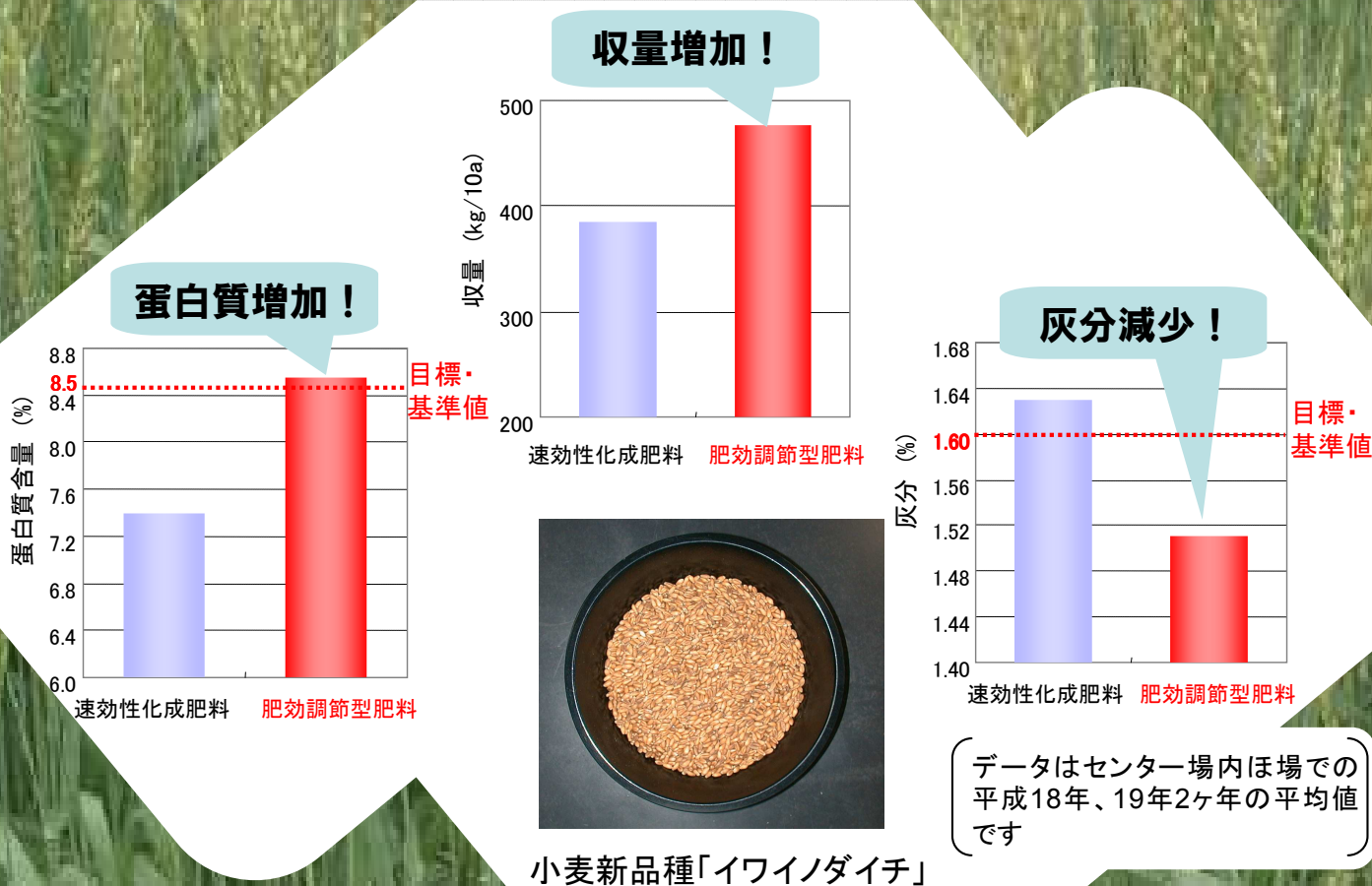
新品種小麦「イワイノダイチ」の 高品質化技術を開発しています。

イワイノダイチは平成17年1月に奨励品種に指定されましたが、蛋白質含量がやや低いことが欠点でした。本県の小麦は水田転換畑で栽培されているため蛋白質含量が低くなりがちで、品質が安定しないことが問題となっています。

従来は基肥として速効性化成肥料が使われていましたが、肥効調節型の被覆尿素肥料(セラコートR25)を用いると、

- ①追肥が1回(従来2回)で済むため省力化できる
- ②蛋白質含量の上昇と灰分の減少により高品質化できる
- ③収量が増える

という利点があることが明らかになりました。



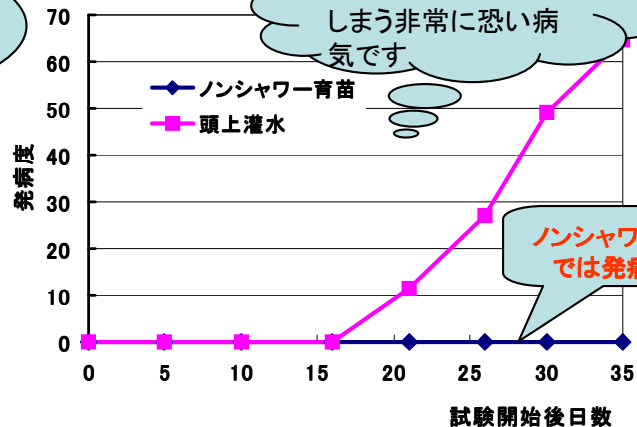
この技術は海津をはじめとする栽培現場で普及し始めています。現在、農業技術センターでは追肥時期の違いによる品質への影響、最適施用時期などの試験を行っています。

「ノンシャワー育苗」でイチゴ炭疽病の心配なし！

炭疽病菌は高温多湿条件で発病し、苗が濡れることで孢子が発芽し、水しぶきで飛散、伝染します。このため、真夏の暑い時に上から灌水すると炭疽病の発病、伝染を助長します。ポットの下から水を吸水させて苗を濡らさずに灌水する「ノンシャワー育苗」は、炭疽病の発病が格段に少く、安心して育苗ができます。



上から水を掛けないので、もう炭疽病の心配はいらないわ！



炭疽病は苗が枯れてしまう非常に怖い病気です

ノンシャワー育苗では発病なし

「ノンシャワー育苗」での採苗

手動灌水(1日 朝、昼、晩の2~3回)でできる「ノンシャワー育苗」を提案中！

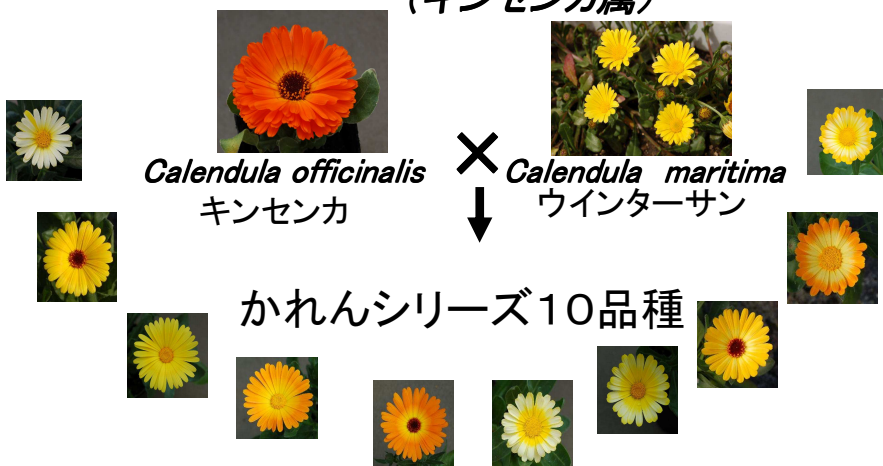
(野菜・果樹部)

キンセンカのイメージを一新

かれん を育成しました



Calendula 属
(キンセンカ属)



- (1) 種間雑種により作りました
- (2) これまでのキンセンカのイメージを払拭

- ・一重咲で花壇、寄せ植えに最適
- ・病気に強い
- ・寒さに抜群に強い

- (3) 秋から初夏まで咲き続けます
- (4) 優しさの彩り(10色)をとりそろえました
- (5) 挿し木で増殖します

品種登録出願中です

(花き部)